

# V 教育活動

## 1 学力向上推進計画

### 1 総括目標

県学力定着状況調査（学びの確かめ）、県学力到達度調査、全国学力・学習状況調査において、正答率が県平均以上を目指す

### 2 方針

- (1) 全校体制で、本年度の重点取組を図る。
  - 「対話」を重視した「学び合う授業」による「確かな学力」の向上
  - 生徒の自主的な活動、認め励まし合う「支持的風土のある学級」づくりの推進
  - 体験活動の充実を図り、心身ともに健康な生徒の育成
- (2) 生徒の実態を把握し、それを踏まえた生徒の課題、学校・地域社会の課題に対応した学力向上に係る取組を推進する。
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」のある授業により、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
- (4) 生徒一人ひとりに、各学年で身に付けるべき基礎的・基本的事項を定着させる取り組みの充実を図る。
- (5) 家庭学習を授業と連動させ、各教科で「宿題」の与え方や評価方法等の工夫を図る。
- (6) 学力向上モデルに基づき指導方法の工夫・改善を行うなど、実効性のある取り組みを実施する。
- (7) 取り組みの結果、分析、考察や成果・課題を次学年に引き継いでいくための、学校・学年・学級での体制を確立し、継続して取り組む。
- (8) 評価規準に基づく指導と評価の一体化を推進する。
- (9) 校内研修を活性化し、指導方法の工夫・改善に取り組み、教師の指導力を高める。
- (10) 開かれた学校づくりの実現を図り、保護者や地域社会への説明責任を果たし、緊密な関係による組織的な学力向上を推進する。

### 3 組織及び組織の役割



4 取組構想

県総括目標：児童生徒の学力を全国水準に高め、維持する

本校の総括目標：県学力定着状況調査、県学力到達度調査、全国学力調査における本校の正答率が県平均以上を目指す

本校の学力向上対策目標

- (1) 「対話」を重視した「学び合う授業」による「確かな学力」の向上
- (2) 生徒の自主的な活動、認め励まし合う「支持的風土のある学級」づくりの推進
- (3) 体験活動の充実を図り、心身ともに健康な生徒の育成

創造的に学習する生徒(確かな学力の向上)

○対話があり学び合う授業の工夫改善	○兼城中学習スタンダードと各種調査の分析・活用	○兼城中学習スタンダード	○授業と連動した宿題や自主学習
○学力向上月間の取組	○読書活動の充実		

心豊かな生徒(豊かな心の育成)

○道徳・特別活動の充実(SST・アイチェック)	○講演会の開催	○キャリア教育の充実(職場体験学習・進路講演会)
○教育相談活動の充実		

心身ともに健康な生徒(健やかな体の育成)

○食育の推進	○授業での体力づくり
○価値的な生徒会活動	○部活動の充実
○早寝・早起き・朝ごはん運動の推進	

令和3年度 県学力定着状況調査(学びの確かめ) 正答率(%)					令和3年度 県到達度調査正答率(%)					令和3年度 全国学力調査正答率(%)					
		県	本校	県比較			県	本校	県比較			全国	県	本校	県比較
中1	国	48.0	52.5	+4.5	中1	国				中3	国	64.6	60.0	64.0	+4.0
	数	53.9	51.8	-2.1		数	40.6	38.0	-2.6		数	57.2	52.0	59.0	+7.0
	英					英					英				
中2	国	57.9	59.9	+2.0	中2	国				中2	国				
	数	42.8	42.4	-0.4		数	47.6	47.3	-0.3		数				
	英	58.5	58.8	+0.3		英					英				
中3	国				中3	国				中3	国				
	数					数	32.4	40.2	+7.8		数				
	英	46.9	52.5	+5.6		英					英				

本校の課題		
視点1 自己肯定感を高める	視点2 学び・育ちの実感	視点3 組織的な関わり
生徒の自己肯定感を高めるために、学校生活や学級での活動を充実させる必要がある。	家庭学習を授業と連動させ生徒が自主的に取り組めるようにしていく必要がある。	学校評価や各種調査等を踏まえた教育課程を編成し、実践・評価・改善のPDCAサイクルを確立することで組織的に取り組む必要がある。

方策1 日常化する 【質的授業改善】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めあて・まとめ・振り返り」の確実な実施</li> <li>・「対話」を取り入れた「学び合う授業」の工夫改善</li> <li>・「問い」が生まれる授業の工夫</li> </ul>
方策2 そろえる 【組織的共通実践】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スケジュールノート」の取組</li> <li>・兼城中学習スタンダード(学習規律を学校体制として取り組むためのもの)の徹底</li> <li>・学級経営の充実</li> </ul>
方策3 支える 【発達の支援】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導・いじめ防止対策委員会を開催し、情報の共有化・指導助言・共通実践を図る。(SC、外部機関等との連携)</li> <li>・生徒の自主的な活動と認め励まし合う「支持的風土のある学級」づくりを推進する。</li> </ul>
方策4 見通す 【学校組織マネジメント】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修の充実や一人一公開授業の確実な実施</li> <li>・学校評価を踏まえた教育課程の編成・実施</li> </ul>
方策5 つなぐ 【学校連携・地域連携】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会等の開催を通じて、教育目標や教育課程などを学校、保護者、地域間で共有し、連携・協働する体制づくりを行う。</li> </ul>

具体的取組

項目	達成目標	具体的取組
確かな学力の向上	① 学力定着状況調査(学びの確かめ)において、正答率が県平均以上を目指す ② 県学力到達度調査において、正答率が県平均以上を目指す ③ 全国学力・学習状況調査において、正答率が県平均以上を目指す ④ 生徒質問紙(全国学力)において、学習意欲等に関する項目の数値向上	○ 各教科で達成目標を設定し、実践する。 ○ 「対話」を取り入れた「学び合う授業」の工夫改善(教材研究と実態に応じた授業研究、分かる授業ポータルガイドの活用) ○ 授業の基本事項、学習評価に基づく授業計画の見直し・再指導による「分かる授業」の実施(学力向上マネジメント) ○ 毎時間のめあての明示とそれに正対した「まとめ」の工夫 ○ 授業形態の工夫(少人数・グループ別・TT等) ○ タブレットや教育機器等の効果的な活用 ○ 県学力向上 web システムの活用 ○ 学力向上推進月間の計画・実施 ○ 正答率 30%未満の生徒・無解答率の改善に向けた取組、補習指導の実施
	① 話を聞く習慣、規範意識、マナーの確立 ② キャリアデザインを考える ③ 年間読書冊数 45 冊以上の生徒が 80%以上を目指す	○ 学校体制による学習規律(兼中スタンダード)の取組・評価、学級・学年での指導 ○ 将来実現したいことを明確にし、主体的に設計する ○ 「スケジュールノート」を活用し、自分に必要な学習計画を立てる(※) ○ 朝読書の実践、学校図書館の計画的な利用 ○ 読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせの取組
豊かな心の育成	① 道徳・特別活動の時間の計画的な実施 ② 不登校生徒を減らす	○ SST、アイチェックの実施、学級経営への活用 ○ 定期的な教育相談活動の実施(年 3 回の教育相談旬間) ○ スカールカウンセラーや関係機関との連携 ○ 学習支援・自立支援員による不登校生徒への支援
	① 体験や人々との出会いを通して夢や希望を持つことができる ② 進路学習を通して、自己の将来や進路について考える	○ 職場体験学習を実施する(1 学年) ○ 進路指導は年間指導計画通りに実施する ○ 地域人材を活用した活動の実施 ○ 進路講演会の計画・実施
健やかな体の育成	① 健康と食への関心を持つことができる ② 当番活動、生徒会活動に積極的に参加することができる	○ 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進 ○ 意図的・計画的に活動機会を設定する
	① 授業での体力づくり(持久力)で、県平均以上を目指す ② 多くの生徒の部活動(クラブチームを含む)加入を目指す ③ 個人での感染症対策を意識する	○ 新体力テスト・泳力調査の実施 ○ 授業で男子 1500m、女子 1000m の持久走に取り組む ○ 新入生に対して部活動紹介、仮入部期間を設ける ○ 各部活動のあいさつ運動・下校当番の継続・活性化 ○ マスク着用、手洗い・消毒の励行、三密を避ける

スケジュールノートについて 3 年間を通して全学年で取り組む。  
提出や記入の時間は、次年度の日課表にならい設定することとする。

6 活動計画

	時期	推進の視点と学力向上マゼンダ付イクル	本校の取り組み
Plan	3月	<input type="checkbox"/> 年度末の取組 前年度の課題に対応した取組 生徒の実態を把握することを通して学校の課題を明らかにし、課題に対応した学力向上に係る取組を推進する。 ・成果や課題の把握と結果分析の共有	<input type="checkbox"/> 「学力向上推進計画」の見直し ・県学力到達度調査等、各種結果の活用 ・教科年間指導計画の見直し ○春休みの宿題の提供 ○達成目標の設定 ○教科会 ○春休みの宿題点検
	春季休業	<input type="checkbox"/> 年度初めの取組 具体的取組	
Do	4月	<input type="checkbox"/> 学力向上推進構想に示した取組を全校体制で取り組む。取組事項を明確にし、具体的に取り組む。 ・日常的な取組と実効性のある取組の展開 ・学校体制での学習規律定着への取組 ・全国学力・学習状況調査へむけての取組	<input type="checkbox"/> 兼城中学習ステップ(学習規律)の取組 <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査への対応 ・授業での指導 ・「スケジュールノート」の取組
	5月	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査 中3(国語・数学・理科) ・自校採点・入力による結果分析の共有	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査の実施と活用 ・成果や課題の把握、課題のあった問題への対策 ・教科年間指導計画の見直し(時数配分等)
Check 1	6月	<input type="checkbox"/> 学力向上強化月間(テスト振り返り月間) ・全国学力・学習状況調査、県学力定着状況調査などから見えた課題の克服に向けた取組 <input type="checkbox"/> 県学力定着状況調査(学びのたしかめ): 6月 中1・中2・中3(国語・数学・英語) ・自校採点・入力による結果分析の共有	<input type="checkbox"/> 標準学力・知能検査(中1)の実施 <input type="checkbox"/> 教育相談の実施(1学期) <input type="checkbox"/> 県学力定着状況調査(学びのたしかめ)実施と活用 ・成果や課題の把握、課題のあった問題への対策 <input type="checkbox"/> 読書月間の実施 <input type="checkbox"/> 進路学習会の実施 ・「スケジュールノート」の実施状況を把握
	7月	<input type="checkbox"/> 夏休み期間中の取組 ・実効性の確認・評価(夏季研修)	
Do	8月	<input type="checkbox"/> 宿題克服大作戦 基礎的・基本的な学習の定着が不十分な生徒へ、夏休みの課題への導入を主とした補習を行う。	<input type="checkbox"/> 夏休みの宿題の提供 <input type="checkbox"/> 夏季講習の実施 <input type="checkbox"/> 達成目標の達成状況評価 <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査結果(文科省公表)の客観的な分析、改善策への再検討 ・「スケジュールノート」の取組
	9月		<input type="checkbox"/> 教育相談の実施(2学期) <input type="checkbox"/> 市学力調査(中3)実施
Check 2	10月		<input type="checkbox"/> 県学力定着状況調査(学びのたしかめ)実施と活用 ・成果や課題の把握、課題のあった問題への対策
	11月		
Action	12月		<input type="checkbox"/> 冬休みの宿題の提供 ・「スケジュールノート」の実施状況を把握
	1月	<input type="checkbox"/> 学力向上強化月間(学習ステップアップ月間): 1~3月 ・県学力到達度調査および全国学力・学習状況調査にむけての取組 ・レディネスをそろえる取組	・「スケジュールノート」の取組 <input type="checkbox"/> 学力向上強化月間の取組(1月~3月) ・朝ドリルと放課後補習の取組(日課の組換え) ・自主学習(宿題)での取組
Plan	2月	<input type="checkbox"/> 県学力到達度調査 ・自校採点・入力による結果分析の共有 <input type="checkbox"/> 年度末の取組 ・当該学年の既習事項の定着の確認と補充的指導 ・本年度の課題の把握と次年度学力向上計画の準備	<input type="checkbox"/> 教育相談の実施(3学期) ・「スケジュールノート」の実施状況を把握 <input type="checkbox"/> 県学力到達度調査の実施と活用 ・成果や課題の把握、課題のあった問題への対策 <input type="checkbox"/> 達成目標の達成状況評価 <input type="checkbox"/> 次年度学力向上推進計画作成
	3月		

## ◆ 兼城中学学習スタンダード ◆

(学習規律を学校体制として取り組むためのもの)

### 《学習の約束》

授業の前	<p>○授業が終わったら、すぐ次の授業の準備（教科書等の学習用具）をする。</p> <p>○日直は黒板をきれいに消しておく。また、移動教室の時には戸締まりをしっかりとする。</p> <p>○着席：チャイムが鳴る1分前には着席する。 (遅れたときは、理由を担当の先生に告げる。)</p>
授業の始まり	<p>○黙想し、全員であいさつ（級長が号令をかける） 「黙想」 ～ 黙想 ～ 「黙想やめ」</p> <p>「正座」 「これから〇〇時間目の授業を始めます」 「（全員）お願いします」</p>
授業のねらい	<p>○授業のめあてをノートに書く。</p>
姿勢・態度	<p>○背筋を伸ばし、姿勢を正す。 ○私語をしない。</p> <p>○失敗を笑わない。 ○ノートをしっかりと取る。</p> <p>&lt;着座の仕方&gt; ○イスを引いて背筋を伸ばして座る。足を横に出したりイスをぐらつかせたりしない。</p> <p>○体育の時間や集会など地面や床に座る場合は体育座りをする。</p> <p>&lt;発表の仕方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方：聞き手側の方を向き、語尾までしっかりと聞こえるように話す。 (相手意識をもつ)</li> <li>・聞き方：話し手の方を向いて聞く。発言途中で口を挟まないようにする。 (相手意識をもつ)</li> </ul>
授業のまとめ	<p>○学習内容や学び方の振り返りをする。</p>
授業の終わり	<p>○正座して全員であいさつ（副級長が号令をかける） 「正座」 「これで〇〇時間目の授業を終わります。」</p> <p>「（全員）ありがとうございました」</p>
宿題や提出物	<p>○宿題や提出物は確実に仕上げ、期限を守って提出する。</p>

### 《学び合いの約束》

- ・少人数（ペア・3人・4人・・・）で学習する。
- ・分からないところは、「教えて」と聴く。
- ・聴くことによって、お互いの学習を確認する。

### 《話し合いの心構え》

- ・話すときは、きちんとした言葉遣いで文の最後まで言い切る。
- ・顔を上げて、相手に体を向けて話す。
- ・誰かが話しているときは、顔や体をそちらに向け、自分の意見と比べて集中して聞く。
- ・困ったり、行き詰まったりした友達がいたら、助けてあげる。
- ・よい意見は認め、みんなで拍手を送る。

### 《対話について》

#### 【自己内対話】

- ・授業のはじめに、自分は何を理解して、何を理解していないかを知る。
- ・授業で教えられた方法以外で考えてみる。
- ・授業の終わりに自分は何を理解して何を理解していないかを知る。
- ・授業後に、自分の考えの深まりを自覚することができる。 等

#### 【他者との対話】

- ・共感する人間関係がある。
- ・相手を納得させる説明をする。
- ・わからないことや疑問点は質問する。
- ・自分の考えたことと他人の考え方を比較、吟味し修正する。
- ・他者の意見や考えを聞いて参考にするが、相手を不愉快にさせる言動は慎む。
- ・相手への言葉遣いに気をつける。